

## おとめ座

「しし座」に続いて東の空から昇ってくる「おとめ座」は、全天で二番目に広い面積を持つ大きな星座です。プロトマイオスが定めた48の星座の一つですが、そのモデルは所説あります。例えば、農業の女神デメテルや正義の女神アストライアだとする説が有名です。今回は、農業の女神デメテルと、その娘ペルセポネの物語を紹介します。

ペルセポネはデメテルの美しい一人娘でした。ある日、彼女は草原で花を摘んでいたところ、冥界の王ハデスにさらわれてしまいます。連れ去られた先で、彼女は冥界のザクロを四つ食べてしまいます。その報いとして、彼女は一年のうち四ヶ月間は冥界で暮らすことになりました。娘が不在の間、母デメテルが悲しんで洞穴にこもるため、地上に冬が訪れるようになったといわれています。

この星座で最も目立つのが、白色の一等星「スピカ」です。「真珠星」とも呼ばれたこの星は、表面温度が20,000℃と18,000℃という二つの星が、わずかに四日の周期で回りあう「近接連星」という姿をしています。

また、おとめ座の方向には多くの銀河が集まる「おとめ座銀河団」が存在します。その密集ぶりは「銀河ののぞき窓」といわれるほどで、写真に撮ると恒星よりも銀河のほうが多く写ることもあります。

おとめ座は非常に大きな星座のため、街明かりの中では女神の全身を辿るのは容易ではありません。まずは春の大曲線を目印に、麦の穂先に光るスピカを見つけ、その背後に広がる膨大な銀河の世界や連星については、観望会でお話と共に楽しみください。

参考図書：全天星座百科（藤井旭著 / 河出書房新社）

### 今月の見どころ星どころ

## 星の色と「歩み」を読み解く

文・浜松市天文台  
村松 大河



梅雨の晴れ間、南西の空にはアークトゥルスとスピカが明るく輝いています。日本ではこの対照的な二つの星を、親しみを込めて「春の夫婦星（めおとぼし）」と呼んできました。

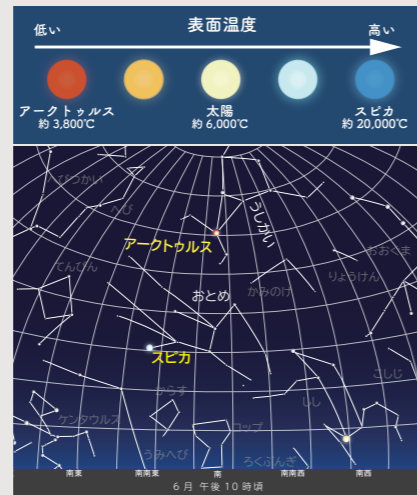
今月は、この二つの星の「違い」に注目してみましょう。まず目に付くのは色の違いです。オレンジ色のアークトゥルスは約3,800℃と比較的低温ですが、白く光るスピカは約20,000℃を超える非常に高温な星です。この「色」は、星の表面温度をそのまま映し出しています。

また、見かけの明るさは似ていても、地球からの距離は大きく異なります。約37光年の距離にあるアークトゥルスに対し、スピカは約250光年と、実ははるか遠方に位置しています。

さらに興味深いのは、これらの星が長い年月をかけて夜空を移動しているという事実です。アークトゥルスは、秒速125kmという猛スピードで移動していることが知られています。宇宙があまりに広大なため、地上からは止まっているようにしか見えません。数万年という壮大な時間が流れた後に、二つの星がまさに「夫婦」のように寄り添って輝く姿が見られるといわれています。

雨上がりの澄んだ夜空を見上げ、対照的な光や宇宙が刻む長い時間に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

参考図書：全天星座百科（藤井旭著 / 河出書房新社）



## 星空クイズ

1年で最も昼が長い「夏至」。この日、太陽が南中する時、地面にできる影の長さはどうなる？

- A 1年で最も長くなる
- B 1年で最も短くなる
- C 春分の日と同じになる

答えは中面へ

# 星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

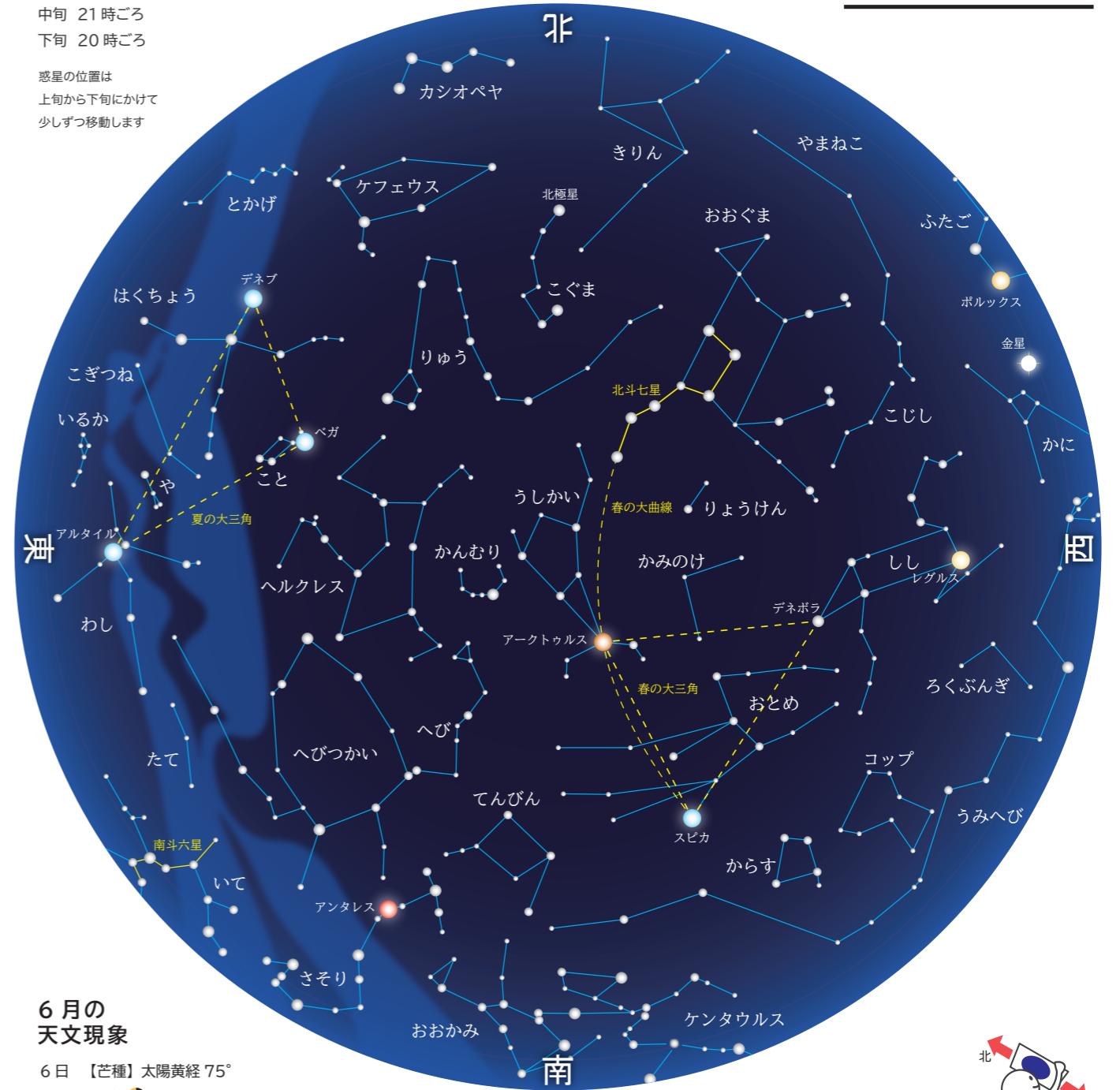
2026年6月

上旬 22時ごろ

中旬 21時ごろ

下旬 20時ごろ

惑星の位置は  
上旬から下旬にかけて  
少しずつ移動します



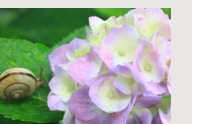
### 6月の天文現象

- 6日 【芒種】太陽黄経 75°
- 8日 下弦
- 11日 入梅
- 15日 新月
- 21日 【夏至】太陽黄経 90°
- 22日 上弦
- 30日 満月

上の星図は、空にかざして  
実際の方角と合わせてご覧ください。



梅雨入りが気になる季節となり、夜空を見上げることが難しい日も多くなります。旧暦6月の和名「水無月」の由来は、新暦の梅雨明けの時期にあたることから、暑さが厳しく水が干上がる様を意味するという説や、田に水を引く「水の月」という説があります。雲の合間から、赤く輝くアンタレスや夏の三大角を見つけたら、それは夏がすぐそこまで来ている合図です。晴れた夜には、夏の足音を感じてみてください。





# 浜松市天文台

OK 天候不良開催 NG 天候不良中止

ウェブサイトはこちら



## イベント情報

天文台ウェブサイトよりお申込みください。

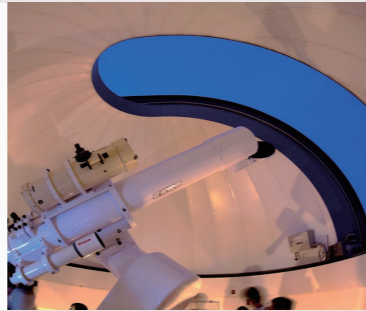
### 6/6・13・20・27

## 星空観望会 宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望します。

時間 19:30～21:00 会場 天文台屋上

申し込み 開催日3日前の水曜 13時から受付 (30分ごと先着20組)

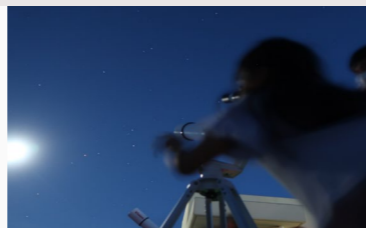


## 6/6 めざせ!望遠鏡マスターコース

基本の操作技術を習得できます。星空観望会でも練習を重ねて、自分の力で星を見つけましょう。

時間 18:30～19:30 会場 2F 講座室

申し込み 6/3(水) 13時から受付 (先着6人) 対象 小中学生

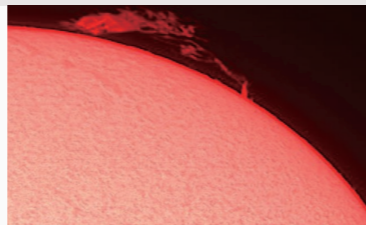


## 6/7 太陽・昼間の星観望会

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や、昼間に見える天体を観望します。

時間 14:00～16:00 会場 天文台屋上

申し込み 予約の必要はありません。直接天文台にお越しください。



## 6/27 天文ミニ講座～今夜の星空がもっと楽しくなる～

星座と今夜の星の見どころについて、星空案内人がお話しします。星空観望会で、星空を見るのがより楽しめます。

時間 18:30～19:20 会場 2F 講座室

申し込み 6/24(水) 13時から受付 (先着10組)



裏面のクイズの答え：正解は、B(太陽が1年で最も高い位置を通るため、影は最も短くなります)

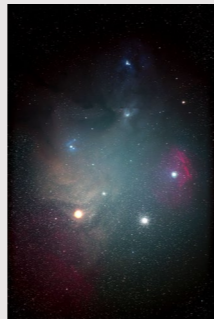
## 星空を楽しむ

### ひかりがい 光害と星空観察

文・浜松市天文台事業協力者の会 大岩幹治

街灯などの光のうち、照らす目的から漏れた光が引き起こす悪影響のことを光害と言います。星空観察では星や天の川が見えにくくなります。明るい照明が安眠妨害や、夜行性動物の行動、農作物の生育不良にも影響します。省エネのため、ここ10年で街灯はより明るいLED照明に変わりました。このLEDが光害をさらに拡大させました(LEDの青色成分が大気中で散乱し、夜空の明るさを増してしまうのです)。

「日本光害マップ」を見ると、浜松市中心部は光害が強く、郊外にある天文台でも市中心部方向の低空は影響があります。光害を避けて観察するには、県西部では「天竜浜名湖鉄道」より北の地が理想ですが、市街地では街灯やビル光が目に入らない場所、公園や河川敷など、周囲より一段暗い場所を選びましょう。月、明るい惑星、一等星クラスの星座などは、光害の下でも楽しめます(お子さんは保護者と一緒に)。自治体でも光害対策に取り組んでいます。浜松市では「音・かおり・光環境創造条例」を策定しています。



▲さそり座「アンタレス」付近



# 浜松科学館

## プラネタリウム番組情報

解説員がライブ解説する「プラネタリウム」をお楽しみいただけます。

ブログはこちら



### プラネタリウム



#### 七夕の星と物語～さあ行こう!天の川の向こうへ～

ご家族でもデートでも楽しめる、定番の「七夕プラネタリウム」!

平日	14:20～15:15
土日祝	13:00～13:55 15:40～16:35



#### 星空マルシェ

気軽に観られる生解説のプラネタリウムです。

平日	15:40～16:20
土日祝	10:30～11:10

### キッズプラネタリウム



#### きらきら☆こんやのおほしさま

土日祝	11:30～12:05 14:20～14:55
-----	----------------------------

### 夜の科学館 特別放映



#### サッカーボールは世界も星もつなく!? ワールドツアープラネ

6月27日(土)	18:00～18:40 19:00～19:40
----------	----------------------------

## 一番星、ど～れだッ?

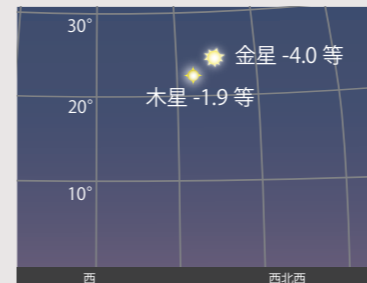
column

文 / 浜松科学館 天文チーム 島田真帆

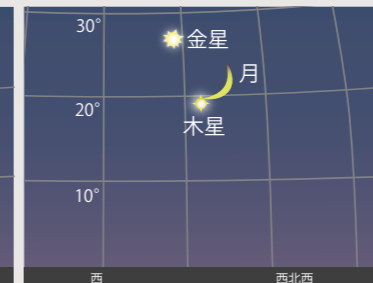
夕方、辺りが暗くなっていく頃の空に、明るく輝く星を見て「一番星、みつけたッ!」と、嬉しくなることがありますよね。一番星ってどんな星なのでしょう?実はこの星だという決まりはありません。その日、一番最初に見つけた星が、あなたの一番星です。一番星が見つかったら、二番星は?三番星は?...と探していると、だんだん星が見えてきます。そうしているうちに、星の明るさや色の違いに気がつくかもしれません。今の時期だと、東の空には青白く輝くこと座のベガが、南の空高いところにはオレンジ色に光るうしかい座のアルクトルスを見つけやすいでしょう。また、今年は夕方西の空に、とても明るい木星と金星が見られます。毎日同じような空に見えても、少しずつ違います。月はかたちが変わって見えるし、見える位置も変わります。木星は西の空で徐々に低くなっていきますので、今月で見納めとなりそうです。金星は日に日に西の空の低い位置から高い位置へと変わり、今月中旬には最大高度となります。最大高度といっても日没30分後の空で、地平線や水平線からげんこつ2つ分(20°程)の高さです。その後は日を追うごとに低くなっていきますが、9月頃までは西の空に輝く宵の明星として楽しめます。

今月は、木星・金星・月の並びに注目してみるのも面白いですよ。9日は木星と金星が大接近し、その前後数日間は二つの惑星の並び方が変わっていく様子を楽しめます。17日には細い月と木星が接近し、それらと金星が並びます。20日前後には金星の近くを双眼鏡で覗くと、プレセペ星団が観られます。20日は土曜日なので、浜松市天文台で開催される星空観望会の参加チャンス!です☆

さあ、今日のあなたの一番星はどの星でしょうか?



6月9日：木星と金星が大接近



6月17日：細い月と木星と金星が並ぶ



6月20日：金星とプレセペ星団が大接近

※いずれも日没30分後の空

